

## 出雲高校ホームページへ

ようこそおいでくださいました。

3年目になります校長の真玉保浩（またまやすひろ）です。昨年度に引き続きどうぞよろしく願いいたします。

本校は大正9(1920)年の島根県立今市高等女学校の創設に始まり、今年度の令和2年度(2020年度)に創立100周年を迎える歴史と伝統に彩られた県下有数の進学校です。

儒教の教典「中庸」にある

「至誠息むこと無し。息まざれば則ち久し。

久しければ則ち微有り」に基づく「久徴精神」を大切にして、生徒と教職員が相睦み合いながら、学習、部活動、探究活動や生徒会活動等に日々意欲的に取り組んでいます。

大学、企業、行政及び地域の皆さま方からご支援とご協力をいただきながら5年間取り組んできたSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業は終了しましたが、第2期3年目となるSSH（スーパーサイエンスハイスクール）でSGH事業の成果を受け継ぎ、教育プログラムを改善して探究学習を充実することによって、変化の激しいこれからの社会に出てから活躍するために必要となる資質・能力を育成できるよう、出雲高校教育のさらなる魅力化に邁進していきたいと考えています。

生徒は昨年度も進学実績、部活動などいろいろな方面で力を発揮してくれました。特に自然科学部の片岡さんの「オカダンゴムシのフンに常在する菌による抗カビ効果の研究」は全国高等学校総合文化祭自然科学部門と高校生科学技術チャレンジ（JSEC2019）で文部科学大臣賞を受賞し、国際学生科学技術フェア（ISEF）の日本代表となりました。また部活動で全国大会に出場した運動部は、ソフトテニス、バスケットボール、陸上競技、山岳、弓道で、全国選抜大会には、弓道、柔道が代表となっています。文化部では、新聞、自然科学、英会話（ESS）、囲碁、将棋、文芸、美術です。中国大会には吹奏楽部など、多くの運動部と文化部が出場するなど本校の勢いは続いています。この勢いのある流れに棹さし、後掲の学校経営方針に基づき、本校が育てたい生徒像「地域・社会のリーダーとして貢献できる人材」の育成に向けて、スローガン「自立・協働・挑戦」とサントリーの創業者である鳥井信治郎がたびたび発したという「やってみなはれ」を合い言葉にして、失敗を恐れず挑戦する姿勢で、次なる百年に向けた新たな時代への一步を踏み出していきたいと思っています。

日々ホームページを更新していますので、ぜひご覧いただくとともに、本校教育の推進に皆さま方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



令和2年4月 島根県立出雲高等学校  
校長 真玉保浩